

19/11/28 名古屋城天守閣木造復元 市民向け説明会終了後

河村たかし名古屋市長と千田嘉博氏の共同ぶら下がり会見終了後の

河村たかし名古屋市長のぶら下がり会見

河村：石垣と天守と、だから、格段に進んでいくと思いますよ。

人間のことだもんで、どうしてもね、ちょっとしたことでどうのこうのなるんですよ。だけどまあよかったです。ええ。よう話聞きながら相談してやりましょうということで、まあ完全に一致したと言われましたのでねえ。いま。

あれ石垣部会として一致しましたので、まあ、名古屋の誇りが、夢が実現されると思いますよ。ええ。

千年大事にせなあかんとなると、木造のお城は。この時代につくったということは、千年後の子どもさん達が喜ぶと思いますよ。ええもんつくってちょうたな一いつて。ええ。ということになると思います。

まあええきや、一杯飲まなきやあかんでわし。

記者：ちなみにあの話は変わるんですけども、今回の説明会は参加されて参加されてというか出席されてどういう感想ですか。

河村：いやこれ本当に冒頭はね、僕はこのなんだ、石垣部会のところで言ったのですが、ちゃんとみんな不安になる部分があるもんで、だでぜひ説明に来てもらえんかということになった。

まあ、千田さんのほうから「じゃあ僕が行きます」。他の方に OK 取られたようですけども。

これは格段の今までの何遍もやってきましたけど、市民の皆さまには安心感を与えられたのではないかなー、と思いますけど。

違う次元の話ですけど。いろんな議論が出るのはまあそれはそういうものですから。しょうがないというか、そういうものです。ええ。

記者：それをこう活かしていくということですか

河村：いやいやそれは全然格段に違いますからね。ええ。

ぼくは、あの、一杯飲んでもう個別に先生方に話をしようといっとなんだけども、なかなかまあ、ね、ちょっといろんなことでうまいこといっとなんことがあるもんで、まあこれでようやくなってきたかということですけど、まあしかしね、これは本当にね、まあ俺の夢だ言っているのはそれは違うんです。名古屋の夢、日本の夢、世界の夢ですよ。こんなの、木造のこんな建築物をです、昔

の400年前に戻すなんてことはね、このできませんから、これ、ええ。

それが実現されるということはね、やっぱそれなりの苦勞がありますよ。これ。ええ。本当に。

ええもんが出来ると思いますよ。驚くべき建物が。ええ。千年大事にする。法隆寺1300年。こっちはまあとりあえず謙虚に1000年。

材木もええのがありますよねえ。という話しで。はい。

記者：市長、一杯飲まないというの、千田さんと飲むということですか

河村：いやいや、千田さんは今日帰られる。帰って行かないといけないもので。

ごめん言っていっと思ったけど。またにしましょうって。ということで

記者：よろしいでしょうか。ありがとうございます。